

資料 2

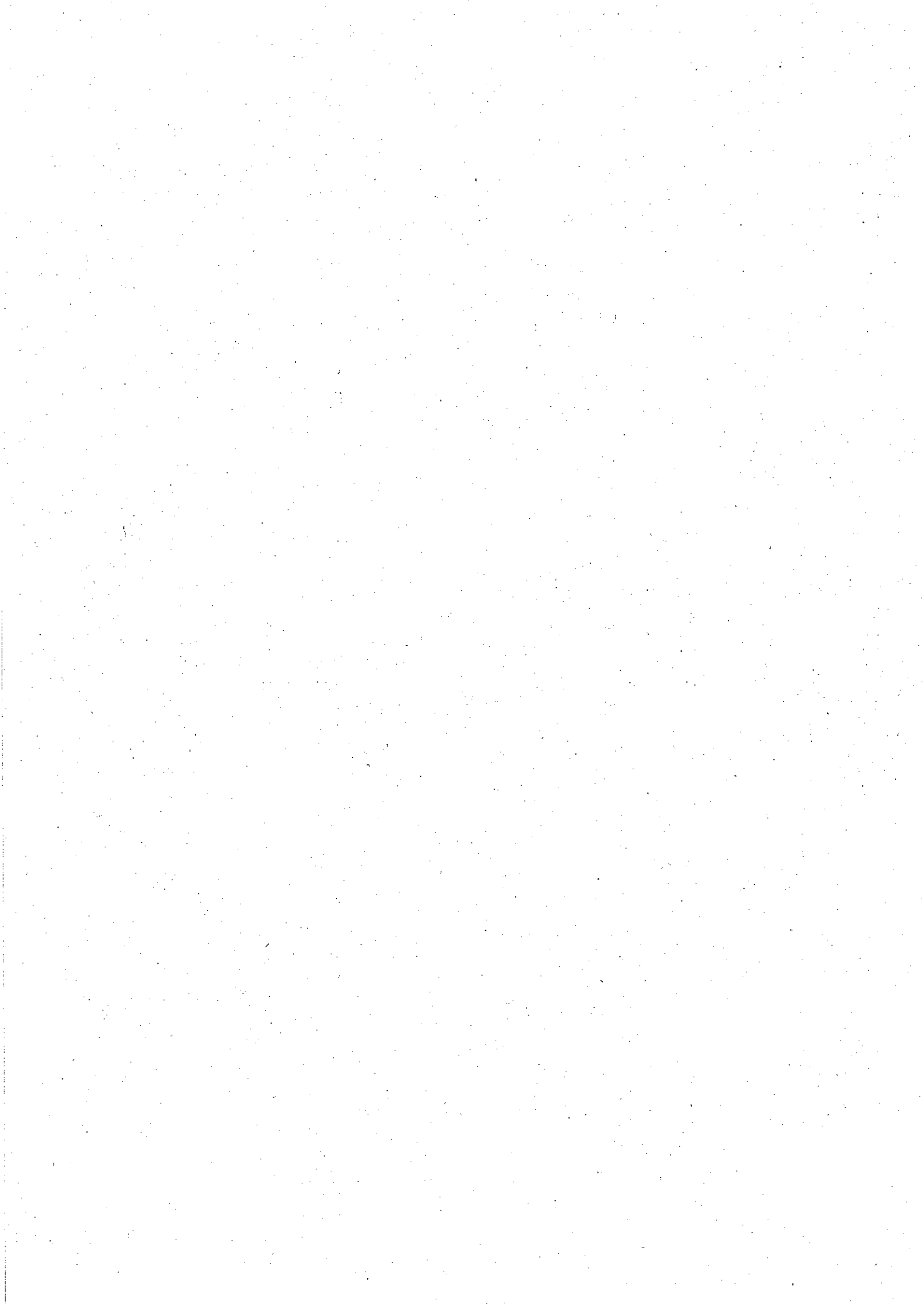
令和3年度子育て支援課所管の事業に係る事業報告及び

令和4年度事業計画について

令和3年度 主要な施策に関する説明書

令和4年度 わたしたちの予算書

抜粋



子育て支援課

■本年度の成果

令和3年度におきましては、地域に子育ての輪を広げ、子どもたちの夢と笑顔をはぐくめるよう、次のような事業に取り組みました。

子育て推進担当では、次代の社会を担う子どもたちの健やかな成長に資するために児童手当の支給を行うとともに、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、「こども医療費」、「ひとり親家庭等の医療費」、「未熟児養育医療費」の助成等を実施しました。

また、地域の保育ニーズ等に基づく質の高い教育・保育を確保するため、第2期子ども・子育て支援事業計画の進行管理を行いました。

新型コロナウイルス感染症にかかる国による緊急経済対策として、「子育て世帯生活支援特別給付金給付事業」及び「子育て世帯への臨時特別給付金給付事業」を実施し、「子育て世帯への臨時特別給付金給付事業」においては、町独自の取組として、国による所得制限の対象者に対しても同様の給付金の給付を行いました。

保育担当では、子育て家庭が必要とする教育・保育サービスの相談、申請窓口として、各々の家庭に寄り添った対応を行うとともに、「幼児教育・保育の無償化」に基づく給付の支給認定等を適切に実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響等により所得が減少した家庭の負担軽減を図るため、所得の増減がより細かく反映できるよう保育料階層区分の細分化（部分引き下げ）を行いました。

学童保育所については、すべての施設において指定管理者制度を導入し、民間事業者や団体のノウハウなどを活かすことで、保育の質の向上、機能の充実を図りました。また、新型コロナウイルス感染症対策として必要な備品購入等の支援を行いました。かえで第二児童クラブにおいては、入所児童の増加に対応するため、須賀小学校の協力を得て新たな保育室を確保しました。

その他、国事業として保育士や学童保育所職員を対象とした処遇改善（賃上げ）事業を実施しました。

こども笑顔担当では、「子育てひろば」及び「子育て支援センター」においては、感染症対策のため利用人数の制限等を行っての開館、イベント等の実施となりましたが、長期の臨時休館があった令和2年度と比べると、利用者数等は大幅に持ち直してきました。

子育て援助事業として、「ファミリーサポートセンター運営事業」及び「緊急サポート運営事業」に加え、保護者が疾病・出産等の理由により子どもの養育が一時的に困難となったときに、町と契約した施設で養育を受けられる「子どものショートステイ事業」を新たに導入し、支援体制の拡充を図りました。

第5次官代町総合計画前期実行計画事業については、「身近な地域で子育てサロン事業」、「地域のみんなで子どもたちの居場所づくり事業」において、地域ぐるみで子育てを応援し、子どもたちの健やかな成長を見守っていくための体制、仕組みづくりに着手しました。

年々増加する児童虐待への対応については、定期的なお弁当や食材等の提供を通じて子どもや家

庭の状況を把握し必要な支援につなげていくための「子どもの見守り強化事業」を新たに開始するとともに、令和4年4月からの「子ども家庭総合支援拠点」の設置・運営に向けた準備を行いました。

町立保育園では、家庭との緊密な連携・協力体制のもと、コロナ禍における新しい生活様式に対応した安心、安全な保育環境を確保するとともに、一人ひとりの個性や発達過程を踏まえながら、子どもたちの主体性や豊かな感性、表現力を育むことを目標に掲げ、保育を実施しました。

また、みやしろ保育園においては、「障害児デイサービス事業」による子どもの発達状況に応じた療育支援を行うとともに、「病児保育・病後児保育事業」を実施し、看護にあたる保護者の保育需要に対応しました。

■ 令和3年度前期実行計画

身近な地域で子育てサロン事業	48
地域のみんなで子どもたちの居場所づくり事業①	49

■ 本年度の主要事業

学童保育所運営事業	133
ひとり親家庭等の医療費支給事業	134
児童福祉対策事業	134
こども医療費支給事業	135
みんな子育て！こども未来事業	136
障害児デイサービス事業	138
未熟児養育医療費給付事業	138
私立幼稚園運営支援事業	139
緊急サポート運営事業	139
ファミリーサポートセンター運営事業	140
子育てのための施設等利用給付事業	141
子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	142
子どもの見守り強化事業	142
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	143
児童手当支給事業	143
みやしろ保育所運営事業	144
国納保育所運営事業	145
保育所管理事業	145

身近な場所で子育てサロン事業

【みんなで子育て！こども未来事業 決算書 P106】

子育て支援課
こども笑顔担当
内線 361

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,043,000	8,201,838	2,431,000	1,164,000	0	2,500,000	2,106,838

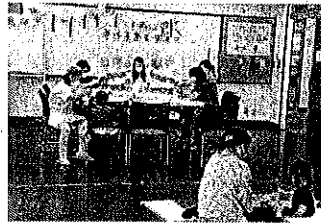
◎ 令和3年度の事業実績 (成果)

今後の自立した事業運営に繋げるため、地域子育てサロンのモデル事業を実施し、子育て中の親子同士の交流と地域とふれあう環境づくりの充実に努めました。また、資格や特技を活かし、子育てを応援する「子育て応援隊」の仕組みを構築し、登録を呼びかけました。

<実施内容>

■地域子育てサロンのモデル事業の実施

子育て中の親子同士が交流し、楽しめる場所を作ることで、子育ての不安や孤立感を軽減できるように、モデル事業として、町内店舗などで毎月1回程度の地域子育てサロンを実施しました。



■「子育て応援隊」の仕組みづくり

「子育て応援隊」として資格や特技を活かし、子育ての応援やサポートができるように子育て応援サイト「みやしろで育てよう」内に「子育て応援隊」ページを開設し、登録の依頼を呼びかけました。(個人登録4人、団体登録4団体)

★ 前期実行計画の趣旨とその工程

子育て中の方が孤立しないように、身近な飲食店や集会所等で地域の皆さんが実施する地域子育てサロンの開設・運営をサポートします。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
地域子育てサロンのモデル事業の実施	子育て支援課	▶				
サロンの開設や運営のための支援策の検討	子育て支援課	▶				
地域主体の子育てサロンの運営開始	子育て支援課			▶		
子育て情報サイトのリニューアル	子育て支援課			▶		

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地域主体の「子育てサロンの運営 3か所以上

地域のみんで子どもたちの居場所づくり事業①

【みんなで子育て！子ども未来事業 決算書 P106】

子育て支援課
こども笑顔担当
内線 361

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,043,000	8,201,838	2,431,000	1,164,000	0	2,500,000	2,106,838

◎ 令和3年度の事業実績 (成果)

子どもの居場所づくりに取り組む団体へのヒアリングや地域で活動する様々な主体と連携した居場所づくりイベント(モデル事業)の実施をとおして、各団体等との関係を構築し課題を共有するとともに、地域主体の居場所づくりの活動を生み出し、広げていくために、必要な支援のあり方や課題を整理しました。

<実施内容>

■子どもの居場所づくりの調査と活動の支援策の検討

子どもの居場所づくりに取り組む団体(8団体)とのヒアリング内容を報告書としてまとめ、現状や課題等を整理したほか、今後、地域の人々が主体となった新たな居場所づくり活動が生まれ、継続してもらうために必要な支援策について検討を行いました。

■子どもの居場所づくりイベントの開催

地域の高齢者サロン、子育て支援事業者、大学生ボランティア、社会福祉協議会等と連携し、子どもたちの学びや遊びの場、地域の人々との交流の場、安心できる居場所づくりにつながるイベント(モデル事業)を実施しました。

★ 前期実行計画の趣旨とその工程

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の場を整備し、心やすらぐ居場所や学びの機会を提供します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
子どもの居場所づくりについて調査研究	子育て支援課 教育推進課	■				
子どもの居場所づくりイベントの開催	子育て支援課	■				
子どもの居場所づくり活動の支援策の検討	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等	■	■	■		
子どもの居場所づくり活動を広げるフォーラム、体験事業の実施	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等		■	■		
居場所づくり活動のネットワークの構築	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等			■	■	■

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

子どもの居場所づくり活動 3か所以上

子どもの居場所づくり活動のネットワークの構築

学童保育所運営事業

〔保育担当〕 決算書 P104

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
140,846,000	127,981,852	41,328,500	36,889,000	0	23,224,350	26,540,002

〔主な実施内容〕

小学校に在学する児童のうち、保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、保護者に代わり保育を行いました。

令和2年度からすべての児童クラブにおいて、指定管理者による管理運営を導入しています。

■各学童入所状況

(年間平均・単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
かえで第一児童クラブ	37	△ 5	42	36
かえで第二児童クラブ	53	17	36	35
かしの木児童クラブ	78	△ 6	84	92
いちょうの木児童クラブ	63	△ 2	65	71
いちょうの木児童クラブ分室	14	△ 1	15	11
ふじ児童クラブ	151	13	138	119
合計	396	16	380	364

※ いちょうの木児童クラブ分室については、平成31年4月から東小学校敷地外の民間施設にて実施

※ ふじ児童クラブについては、令和2年4月から新施設に移転

※ かえで第二児童クラブについては、令和3年6月から2クラスでの運営を実施

■指定管理者

	指定管理者	指定期間
かえで第一児童クラブ かえで第二児童クラブ	特定非営利活動法人 宮代町かえで児童クラブ	H31. 4. 1~R6. 3. 31
かしの木児童クラブ いちょうの木児童クラブ いちょうの木児童クラブ分室 ふじ児童クラブ	株式会社 アンフィニ	R2. 4. 1~R7. 3. 31

〔成 果〕

保護者の就労を支援するために、学童保育所において放課後や学校の長期休暇時に児童の余暇指導等を行いました。さらに、指定管理者による安心・安全、適正な管理運営により、児童の自主性、社会性、創造性を養いながら、健全育成を図ることができました。

ひとり親家庭等の医療費支給事業

[こども笑顔担当]

決算書 P104

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
10,263,000	7,827,930	0	3,356,816	0	0	4,471,114

[主な実施内容]

■ひとり親家庭等の医療費の一部を支給しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
平均対象者数(人)	230	△39	269	269
延べ件数(件)	2,665	△421	3,086	3,198
支給総額(円)	7,685,915	△1,981,642	9,667,557	9,524,779
一件あたりの支給額(円)	2,884	△249	3,133	2,978

[成 果]

ひとり親家庭等に医療費の一部及び臨時特別給付金を支給することにより、生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることができました。

児童福祉対策事業

[子育て推進担当・保育担当]

決算書 P104

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
60,773,000	50,574,097	10,852,000	11,596,000	0	0	28,126,097

[主な実施内容]

子ども・子育て支援事業計画に基づき、質の高い幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の推進を図り、あわせて事業の実施状況等を検証するため、計画の進行管理を行いました。また、民間保育所等に入所中の児童の健全育成を図るため、各種特別保育事業に対し補助を行いました。

■民間保育所等補助金(特別保育事業) 25,952,800円

延長保育事業や低年齢児保育事業など、児童福祉の向上を図る事業について補助金を交付しました。

■民間保育所等補助金(感染症対策事業・保育士等処遇改善臨時特例事業) 5,563,020円

民間保育所等における新型コロナウイルス感染拡大防止を図る事業の経費の一部又は全部、及び施設に従事する保育士等の処遇改善に係る経費の一部について補助金を交付しました。

■民間保育所等給食費補助金 5,760,000円

児童の発育段階、健康状態及びアレルギー等の体質に配慮した給食を提供する取組みについて補助金を交付しました。

■副食費の補足給付費補助金 2,520,540円

幼稚園利用者の給食費(副食費)の一部について補助を行いました。

■PCR検査キット等の購入

904,200円

保育所及び学童保育所等における新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、保育従事者用の簡易抗原検査キットを購入し、町内の各施設に配布しました。

[成 果]

子ども・子育て支援事業計画の進行管理を行い、安心して子育てできる環境整備等を進めることができました。

また、民間保育所等に対して補助を行い、入所児童の受入拡大を図るとともに、延長保育や子育て支援センター、一時預かり事業等の多様な保育を提供することにより、児童の健全育成、仕事と家庭の両立支援を図ることができました。

こども医療費支給事業

{こども笑顔担当}

決算書 P106

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
102,317,000	82,714,863	0	11,849,617	0	0	70,865,246

[主な実施内容]

子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、こども医療費を助成しました。

■入院分

中学校卒業年度末までの入院分に係るこども医療費の一部負担金に対して全額助成しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
平均対象者数(人)	3,776	△53	3,829	3,840
延べ件数(件)	273	0	273	376
支給総額(円)	11,640,242	1,622,461	10,017,781	14,712,540
一件あたりの支給額(円)	42,638	5,943	36,695	39,129

■通院分

中学校卒業年度末までの通院分に係るこども医療費の一部負担金に対して全額助成しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
平均対象者数(人)	3,776	△53	3,829	3,840
延べ件数(件)	40,698	561	40,137	51,355
支給総額(円)	69,428,373	2,998,544	66,429,829	83,392,048
一件あたりの支給額(円)	1,706	51	1,655	1,624

[成 果]

医療費の一部負担金を助成することによって子育て家庭の経済的負担を軽減し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図ることができました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,043,000	8,201,838	2,431,000	1,164,000	0	2,500,000	2,106,838

[主な実施内容]

子育てに関する情報提供や各種相談、乳幼児・児童の健全な育成に必要な親子及び保護者間の交流の場の提供、乳幼児等と他世代や地域との交流を図る事業を実施しました。

昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として利用人数の制限等を実施しましたが、子育て支援センターの利用人数及び各種教室イベント等の参加人数は、持ち直しつつあります。

■子育て支援センターの利用状況 (単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
子育てひろば	10,030	4,877	5,153	27,196
こども	5,836	2,876	2,960	16,023
保護者	4,194	2,001	2,193	11,173
げんきっ子	2,068	634	1,434	4,745
こども	1,198	389	809	2,755
保護者	870	245	625	1,990

■主な実施事業(子育てひろば)

①幼児、児童に健全な遊びの機会を設け、情緒を豊かにすることや親子間での交流を図ることを目的とした事業

事業名	内 容	参加人数
年齢別教室	1~3歳児を対象とした親子での遊びや友だちづくり	565人
工作親子教室	幼児、児童、親子向けの工作教室等	467人
乳児向け教室	親子での遊びや友だちづくり	148人
幼児向け教室他	親子での遊びや友だちづくり	264人
絵本の日	あおむしの皆さんによる乳幼児を対象とした絵本の読み聞かせ	75人

②子育て中の親等を対象にしたリフレッシュ事業

事業名	内 容	参加人数
産後ボディケア講座	産後ボディケアによる子育て世代ママのリフレッシュ	15人

③屋外等広い場所で体を動かしてあそぶ事業

イベント名	内 容	参加人数
はじめてのあそび他	ピクニックにいこうよ、フレスコボール体験等	210人

④三世代交流事業

事業名	内 容	参加人数
ミニ門松づくり	宮代町さわやかクラブ連合会の協力によるミニ門松づくり	49人

■主な実施事業（げんきっ子）

①幼児、児童に健全な遊びの機会を設け、情緒を豊かにすることや親子間での交流を図ることを目的とした事業

事業名	内 容	参加延べ人数
げんきっ子の日	簡単な製作等	579人
園庭開放	国納保育園の園庭で遊ぶ	104人
幼児向け教室他	親子スキンシップ講座、はみがき教室等	47人
運動会他	ミニ緑日・ミニ運動会・ハロウィンパーティ・クリスマス会	135人

②子育て中の親等を対象にしたリフレッシュ事業

事業名	内 容	参加人数
親子ヨガ教室	親子ヨガを通じて子育て世代ママのリフレッシュ	9人

■子育て相談の実施

役場内「子育てひろば」にて毎週月・水・木曜日に、また国納保育園内「げんきっ子」にて毎週火・金曜日に、専門の相談員による子育て相談を実施しました。

・相談件数

(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
育 児 相 談	93	29	64	92
子育てひろば	18	0	18	26
げんきっ子	75	29	46	66
乳幼児健全育成相談	120	77	43	97
こども家庭相談	28	13	15	53
オンライン子育て相談	0	0	0	—

[成 果]

■乳幼児、児童向け事業

乳幼児、児童に健全な遊びの機会を設けたことにより、子どもの情緒を豊かにし、親子間での交流を図ることができました。

■屋外等広い場所で体を動かしてあそぶ事業

新型コロナウイルス感染症の影響により遊ぶ機会が失われている親子に、屋外等広い場所で体を動かし遊ぶ事業を実施し、親子や家族間の交流を図ることができました。

■三世代交流事業

子どもや高齢者との交流の場として、ミニ門松づくりを開催し、子どもたちの豊かな情操と社

会性、協調性を育むとともに、文化と伝統を継承する機会を作りました。

■子育て相談

子育てについての不安や悩みなどを持っている保護者に対する相談、援助を実施し、子育て中の孤独感や不安感などの解消を図り、負担軽減につなげました。

障害児デイサービス事業

[みやしろ保育園]

決算書 P108

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
367,000	296,558	0	0	0	0	296,558

[主な実施内容]

町内に居住する2歳児から小学校就学の始期に達するまでの児童を対象とし、心身に発達の遅れが見られ、医療機関または保健センターにおいて療育が必要と認められた児童を受入れ、基本的動作の指導、訓練及び給食保健衛生並びに集団生活への適応訓練等の療育を行い、児童の健やかな発育を支援するとともに、家族への支援も実施しました。(令和3年度受入児童 5人)

[成 果]

児童の成長・発達状況や個性に配慮した保育を行うとともに、保護者への助言・相談を実施し、あわせて言語聴覚士による言葉の発達相談を行いました。児童それぞれに合った療育的な取り組みにより、集団生活に必要な友だちとのかかわりや習慣を身につけることへの支援ができました。

未熟児養育医療費給付事業

[子ども笑顔担当]

決算書 P108

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,416,000	2,413,464	1,129,305	280,000	0	444,390	559,769

[主な実施内容]

身体の発育が未熟な状態で生まれ、入院を必要とする乳児に対して、その治療に必要な医療費を町が負担しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
対 象 者 数 (人)	14	6	8	11
延 べ 件 数 (件)	24	11	13	22
支 給 総 額 (円)	2,412,572	1,101,612	1,310,960	2,050,394
一件あたりの支給額 (円)	100,524	△319	100,843	93,200

[成 果]

養育のため入院を必要とする未熟児の入院費を助成し、安心して必要な医療を受けられるよう支援することにより、乳児の健康の保持・増進を図ることができました。

私立幼稚園運営支援事業

[保育担当] 決算書 P108

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,285,000	1,700,000	0	0	0	0	1,700,000

[主な実施内容]

■私立幼稚園振興助成金の交付

幼児教育の向上及び障がい児教育の充実を促進するとともに、保護者の負担軽減を図ることを目的として私立幼稚園に振興助成金を交付しました。

(単位 円)

幼稚園名	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
宮代幼稚園	150,000	0	150,000	150,000
宮代須賀幼稚園	150,000	0	150,000	150,000
宝光寺幼稚園	150,000	0	150,000	150,000
姫宮成就院幼稚園	1,250,000	140,000	1,110,000	1,110,000
合計	1,700,000	140,000	1,560,000	1,560,000

[成 果]

町内私立幼稚園に対し助成を行うことにより、保護者の負担を増やすことなく、各幼稚園の学習環境等の改善や、幼児教育プログラムの向上及び心身障がい児教育の充実に寄与することができました。

緊急サポート運営事業

[こども安心担当] 決算書 P108

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
528,000	528,000	176,000	176,000	0	0	176,000

[主な実施内容]

地域で安心して子育てができるように、子育てのお手伝いをしてほしい方(利用会員)と、子育てのお手伝いができる方(提供会員)が会員となり、地域で子育てを助け合う有償の援助活動です。

■事業概要

援助内容 子どもの風邪等で保育施設が利用できない時の預かり、保護者の体調不良等で保育が困難な時の預かり、宿泊を伴う子どもの預かりなど

利用時間 24時間(宿泊可) ※申込:利用希望日の当日まで

■緊急サポート会員数

(単位 人)

会員名	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
利用会員	56	19	37	24
提供会員	12	0	12	12
両方会員	0	0	0	0
合計	68	19	49	36

■緊急サポート活動状況

(単位 人)

活動内容	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
病児	0	0	0	0
預かり	0	△1	1	4
送迎	0	0	0	8
宿泊	0	0	0	0
合計	0	△1	1	12

[成 果]

令和3年度については、利用に関する相談を受けましたが、最終的な活動実績はありませんでした。しかしながら、緊急時に対応可能な支援の仕組みがあることで子育て世帯の安心につなげることができました。

ファミリーサポートセンター運営事業

[こども安心担当] 決算書 P108

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,552,000	4,284,480	1,519,000	1,310,000	0	1,200,000	255,480

[主な実施内容]

地域で安心して子育てができるように、子育てのお手伝いをしてほしい方(利用会員)と、子育てのお手伝いができる方(提供会員)が会員となり、地域で子育てを助け合う有償の援助活動です。

■事業概要

援助内容 保育園、幼稚園、学童保育所、習い事への送迎(その前後の預かり)、親のリフレッシュのための預かり、学校行事への参加時の預かりなど

利用時間 午前6時～午後8時 ※申込:利用希望日の2か月前から2週間前まで

■ファミリー・サポート・センター会員数

(単位 人)

会員名	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
利用会員	93	16	77	56
提供会員	56	1	55	50
両方会員	3	1	2	0
合計	152	18	134	106

■ファミリー・サポート・センター活動状況

(単位 人)

活 動 内 容		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
保育園	開始前・終了後の送迎	85	19	66	159
幼稚園	開始前・終了後の託児	3	△7	10	19
学 童	開始前・終了後の送迎	248	52	196	470

	開始前・終了後の託児	186	95	91	122
小学校	開始前・終了後の送迎	15	5	10	7
	開始前・終了後の託児	1	△3	4	7
	保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の預かり	19	19	0	1
	保護者等の外出の場合の送迎・預かり	2	2	0	0
	保護者等の就労（短期・臨時・求職活動等）の場合の預かり	0	△4	4	1
	保護者等の病気、急用等の場合の預かり	0	0	0	0
	学習塾や習い事等の送迎	25	0	25	8
	保育所施設等入所前の援助	0	0	0	0
	保護者等のリフレッシュ・習い事等の場合の送迎・預かり	33	33	0	0
	子どもの病気時の預かり	0	0	0	0
	その他	85	△125	210	0
	合 計	702	86	616	794

[成 果]

保育園や学童保育、習い事への送迎、保護者の就労や外出時の預かり保育等の援助活動が行われ、子育て世帯を支援することができました。

子育てのための施設等利用給付事業

[保育担当] 決算書 P108

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
184,701,000	154,416,025	81,082,226	40,684,436	0	0	32,649,363

[主な実施内容]

幼児教育・保育無償化により、子ども・子育て支援新制度未移行の私立幼稚園等に就園する満3歳児・3歳児・4歳児・5歳児のいる世帯の保護者に対して、特定子ども・子育て支援施設等（幼稚園、預かり保育、認可外保育、一時保育等）の利用に要した費用について施設等利用費を支給しました。

(単位 円)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
幼稚園	138,620,640	△ 9,819,490	148,440,130	73,764,530
預かり保育事業	5,085,540	538,250	4,547,290	2,126,450
認可外保育施設	3,340,000	711,210	2,628,790	84,000
一時預かり事業	304,400	197,850	106,550	25,000
合 計	147,350,580	△8,372,180	155,722,760	75,999,980

※令和元年度は、10月から事業開始のため6か月分。

[成 果]

私立幼稚園等の保護者の負担を軽減することにより、幼児教育が受けやすい環境を整えました。また、預かり保育や認可外保育施設等の利用料を支給することにより、保護者の就労等を支援しました。

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業

[こども笑顔担当]

決算書 P110

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
490,649,000	466,134,318	465,300,948	0	0	0	833,370

※令和3年度予算のうち、12,200,000円を令和4年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

新型コロナウイルス感染症の影響に対応するための経済対策として、18歳以下の児童を養育する世帯に対し、対象児童一人あたり10万円の給付金を支給しました。町独自の取組として国による所得制限の対象者（特例給付受給世帯）に対しても同様の給付金を支給しました。

	児童手当受給世帯	児童手当受給世帯 (公務員・16～18歳養育世帯)	合 計
支給対象者数 (人)	1,878	727	2,605
支給対象児童数 (人)	3,354	1,030	4,384
支 給 額 (円)	335,400,000	103,000,000	438,400,000
	特例給付受給世帯	特例給付受給世帯 (公務員・16～18歳養育世帯)	合 計 【繰越明許分含む】
支給対象者数 (人)	137	58 【※繰越明許】	195
支給対象児童数 (人)	258	67 【※繰越明許】	325
支 給 額 (円)	25,800,000	6,700,000 【※繰越明許】	32,500,000

[成 果]

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援することができました。

子どもの見守り強化事業

[こども安心担当]

決算書 P110

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,720,000	3,737,807	3,737,000	0	0	0	807

[主な実施内容]

子どもの養育等に関して悩みや不安があるなど、見守りが必要な世帯を定期的に訪問し、食材やお弁当の提供を通じて子どもや家庭の状況把握を行いました。

■生活支援 (令和3年7月から開始)

- ・ 3世帯14人に対し、家庭訪問、電話相談、同行支援など延べ83回行いました。

■お弁当配布 (令和3年7月から開始)

- ・ 12世帯45人に対し、合計35回配布し、延べ1,480食配布しました。

[成 果]

定期的な家庭訪問により、子どもや家庭の状況を把握するとともに、必要な生活支援等を行うことができました。

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

[こども笑顔担当] 決算書 P110

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
18,470,000	11,870,934	11,870,934	0	0	0	0

[主な実施内容]

新型コロナウイルス感染症の影響に対応するための経済対策として、18歳以下の児童を養育する低所得の子育て世帯に対し、対象児童一人あたり5万円の給付金を支給しました。

支給対象者数 (人)	120
支給対象児童数 (人)	219
支給額 (円)	10,950,000

[成 果]

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活の支援に寄与することができました。

児童手当支給事業

[こども笑顔担当] 決算書 P110

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
445,838,000	432,568,424	299,692,665	65,221,165	0	0	67,654,594

[主な実施内容]

次代の社会を担う児童の健やかな成長を社会全体で応援する観点から、中学校卒業までの児童を養育している方に児童手当を支給しました。

■支給額 (一人あたり月額)

3歳未満：15,000円、3歳以上小学校修了前：10,000円 (第3子以降は15,000円)

中学生：10,000円 ※所得制限限度額以上の場合は、一律5,000円 (特例給付)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
延べ児童数 (人)	39,955	△883	40,838	41,180
被用者	34,111	△397	34,508	34,272
非被用者	5,844	△486	6,330	6,908
延べ受給者数 (人)	24,369	△928	25,297	25,699
被用者	20,773	△516	21,289	21,344
非被用者	3,596	△412	4,008	4,355
支給総額 (円)	430,135,000	△13,010,000	443,145,000	450,250,000

被用者	366,995,000	△6,910,000	373,905,000	373,315,000
非被用者	63,140,000	△6,100,000	69,240,000	76,935,000

※ 6月(2~5月分)、10月(6~9月分)、2月(10~1月分)支給。

[成 果]

児童を養育している方に児童手当を支給することにより、家庭における生活の安定に寄与することができました。

みやしろ保育所運営事業

(みやしろ保育園) 決算書 P114

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
56,780,000	49,725,955	11,427,000	2,784,000	12,100,000	12,811,660	10,603,295

[主な実施内容]

保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、保護者の協力のもとに家庭と連携を図り、家庭養育の補完を行いました。

保育園においては、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、健全な心身の発達を図るとともに、保育目標「あかるいこ つよいこ すなおなこ」に基づき、子どもひとりひとりの特性に応じ、発達状況に配慮した保育を実施しました。

また、令和3年度も新型コロナウイルス感染症予防対策を継続し、新しい生活様式に則した保育を実施しました。

■一時預かりの実施

就労形態の多様化に伴う一時的な保育需要、保護者の傷病等による緊急時の保育需要及び保護者の育児に伴う心理的、身体的負担を解消するための保育需要に対応するため、一時預かりを実施しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
みやしろ保育園(人)	1,344	491	853	1,119

■病児保育・病後児保育の実施

病気又はその回復期にある生後6か月から小学校3年生までの子どもを対象とするもので、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言中は、感染拡大予防として利用対象を外傷のみに制限して実施しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
みやしろ保育園(人)	33	26	7	74

■空調設備の更新工事等の実施

22,551,100円

安全で快適な保育環境を維持するため、空調設備の更新やデッキの改修工事等を実施しました。

[成 果]

通常保育をはじめ、一時保育、病児保育・病後児保育等、様々な状況にあわせた保育の実施により、子どもの健全な育成や就労している保護者等の負担軽減に寄与することができました。また、新しい生活様式を行いつつ保育内容や体験活動を工夫することにより、保育園児の感受性を豊かに育み、思いやりの気持ちが生まれるような保育を実施することができました。

国納保育所運営事業

[国納保育園] 決算書 P116

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
31,029,000	28,534,108	4,074,000	0	0	7,590,830	16,869,278

[主な実施内容]

保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、保護者の協力のもとに家庭と連携を図り、家庭養育の補完を行いました。

保育園においては、新しい生活様式の実践が求められる中、子ども達が健康、安全で情緒の安定した生活が送れるよう、感染対策を講じた環境を整備し、健全な心身の発達を図るとともに、保育目標「あかるいこ つよいこ すなおなこ」に基づき、一人ひとりの個性を尊重した保育を実施しました。

■ エントランスホール空調設備工事等の実施 3,414,100円

安全で快適な保育環境を維持するため、エントランスホールへの空調設備の設置、保育室内のトイレ床の貼替工事等を実施しました。

[成 果]

様々な催し物や体験の実施に制限のある中、主体的な活動を通して、子ども一人ひとりの想像力、創造力を引き出し、また、ともだちへの思いやりが育まれるような保育を実施することができました。

保育所管理事業

[保育担当] 決算書 P116

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
510,878,000	447,957,494	223,473,734	95,512,319	0	34,904,330	94,067,111

[主な実施内容]

保護者の就労等により保育を必要とする児童について、保護者に代わり保育施設等で保育を行うため、公立保育園の運営管理及び私立保育所への保育の委託を行いました。

■ 管内入所延児童数 (延人数 人)

	公 立		私 立						合 計
	国納	みやしろ	姫宮	百間	本田	カイト・ナリ-	カイト・ナリ-	カイト・ナリ-	
						5丁目園	2丁目園	ビブティ園	

3歳未満児	396	362	324	355	270	214	209	228	2,358
3歳以上児	770	992	516	575	708	0	0	0	3,561
合計	1,166	1,354	840	930	978	214	209	228	5,919

■委託延児童数

(延人数 人)

	公立		私立		合計
	市町村名	人数	市町村名	人数	
3歳未満児	久喜市	10	春日部市	59	130
			白岡市	12	
			伊奈町	12	
			さいたま市	8	
			久喜市	18	
			越谷市	1	
			杉戸町	10	
3歳以上児	幸手市	36	春日部市	45	159
	白岡市	12	白岡市	12	
	川口市	11	伊奈町	12	
	春日部市	7	久喜市	12	
	鴻巣市	1	越谷市	1	
			杉戸町	10	
合計		77		212	289

■受託延児童数

(延人数 人)

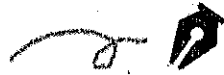
	公立		私立		合計
	市町村名	人数	市町村名	人数	
3歳未満児	杉戸町	10	杉戸町	7	34
			羽生市	6	
			幸手市	5	
			久喜市	6	
3歳以上児	杉戸町	6	久喜市	6	25
			上尾市	12	
			杉戸町	1	
合計		16		43	59

[成 果]

保護者の就労や病気などにより保育を必要とする場合において、児童を保育施設等で保育することにより、家庭等の負担を軽減し、児童の心身の健全な発達を図ることができました。

子育て支援課

令和4年度の取り組み



近年、増加の一途をたどる児童虐待に的確に対応するため、児童福祉法に基づく「子ども家庭総合支援拠点」を令和4年4月に設置し、専門職員を配置して関係機関との連携を図りながら、児童虐待の予防及び迅速な対応、子ども家庭への包括的・継続的な支援体制を強化します。

子ども医療費については、これまで中学3年生までの通院・入院を対象に助成していましたが、子育て家庭の経済的負担の更なる軽減を図るため、令和4年度中に入院分の助成の対象を18歳に達する日以後の最初の3月末日までに拡大します。

また、地域で安心して子育てができるための環境整備として、病児・病後児保育事業やファミリーサポートセンター事業、緊急サポート運営事業、子育て短期支援事業（子どものショートステイ）など、様々な子育て支援事業を引き続き実施します。

2年目となる第5次総合計画事業の「身近な場所で子育てサロン事業」、「地域みんなで子どもたちの居場所づくり事業」においては、子育て中の方がほっとできる場所、子どもが孤立せずに生き生きと過ごせる場所を創るため、引き続き、地域の様々な実施主体との連携による活動を試行的に行っていくとともに、将来に向けて自主的かつ持続的な活動ができるよう、効果的な支援策を検討します。

保育所においては、今後一層高まる保育ニーズに対応した受皿の整備や保育人材の確保に努め、人格形成に重要な幼児期の質の高い保育環境を提供し、併せて学童保育所においては、指定管理者との連携を密にして、保育の多様化・質の向上・機能の充実を図ります。

子育て支援課では、宮代町で暮らす保護者の皆様が喜びを感じながら安心して子育てができるよう、子どもたちが愛情に包まれ健やかに成長していけるよう、引き続き、保健・福祉・教育と連携し、世帯の状況に応じた、きめ細やかな子育て支援策の提供に努めてまいります。

■ 子育て推進担当

第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、地域の教育・保育ニーズに応じた環境整備を進め、次世代を担う子どもたちの健やかな育ちを支援します。

子ども医療費支給事業については、入院分の助成対象を18歳の年度末まで拡大するとともに、埼玉県（未就学児）と足並みを揃えて、令和4年10月から県内全域での現物給付方式を導入します。（窓口での医療費の支払いが不要になります。）

[子ども医療費支給事業] P71

子どもへの医療費助成

[児童手当支給事業] P76

中学生以下の子どもがいる世帯への手当支給

■ 保育担当、みやしろ保育園、国納保育園

幼児教育・保育の無償化に基づく、教育・保育認定、利用給付等の事務を適切に進めるとともに、町独自の取り組みとして、引き続き副食費にかかる減免制度等を実施します。

学童保育所では、指定管理者の持つノウハウ等を活用しながら、多様化するニーズに対応し、安心して利用いただける保育所運営を図ります。

みやしろ保育園、国納保育園では、保育の質の確保及び園の運営改善に努め、一人ひとりを大切にして、子ども自身が自分で考え行動できる力を育てていきます。

私立幼稚園、私立保育園に対しては、幼児教育・保育の向上のための助成を引き続き実施していきます。

[学童保育所運営事業] P71

学童保育所(各小学校内)の運営

[私立幼稚園運営支援事業] P73

私立幼稚園に対する振興助成金の支給

[子育てのための施設等利用給付事業] P75

子育てのための施設等利用給付費の支給

[町立保育園(みやしろ保育園・国納保育園)運営事業] P77

・みやしろ保育園の運営、一時保育の実施

・国納保育園の運営

■ こども笑顔担当

子育てひろば及び各子育て支援センターでは、親子が気軽に安心して過ごせる場となること、こども同士・親同士・地域の様々な人たちと子育て家庭をつなぐ架け橋となることを心がけ、たくさんのこどもたちの笑顔を引き出していくことを目指し、各種事業を展開していきます。

子育て応援ウェブサイト「みやしろで育てよっ」においては、宮代町の子育て世代に有用な様々な情報を、タイムリーに、分かりやすく、親しみやすく発信していきます。

第5次総合計画事業「身近な場所で子育てサロン事業」、「地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業」においては、前期実行計画に基づき、地域の様々な主体による活動を持続的に展開できるような支援策の検討等を行います。

[みんなで子育て！こども未来事業] P72
子育てひろばの運営

実行計画事業

- ・身近な場所で子育てサロン事業 P31
- ・地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業① P32

■ (仮)こども安心担当

令和4年4月に設置する「子ども家庭総合支援拠点」の担当部署として、関係機関と連携しながら、支援が必要な家庭の早期発見から虐待の未然防止、再発防止に至るまでの切れ目のない支援を実施します。

子育ての支援を受けたい人（利用会員）と子育てを援助・サポートしたい人（提供会員）が会員となり、一時預かり等の支援業務を通じて助け合う緊急サポート・ファミリーサポートセンター運営事業においては、事業の基盤となる提供会員の確保に努め、多様化するニーズに対応した子育て支援を実施していきます。

[こども家庭総合支援事業] P76




子ども家庭総合支援拠点の運営

[ファミリーサポートセンター運営事業・緊急サポート運営事業] P75

- ・児童の一時預かり等会員相互による育児の支援
- ・病気等の緊急時における児童の預かりの支援

学童保育所運営事業

保育担当
内線324・329

 総事業費 1億4,883万円	一人あたり 982円	 その他の財源 1億1,576万円
	 町からの支出 3,307万円	

国から 3,625万円
県から 3,979万円
学童保育料等 3,972万円




令和4年度の目標

放課後、土曜日や学校休業日など、保護者が就労等により保育が困難な家庭の児童を対象に、放課後児童クラブにおいて家庭に代わる生活の場を提供し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全育成及び仕事と子育ての両立支援を図ります。

- 学童保育所運営のための指定管理料 1億4,730万円
 ・指定管理者による放課後児童クラブの管理運営に係る経費
- その他の経費 153万円

こども医療費支給事業

子育て推進担当
内線323

 総事業費 1億672万円	一人あたり 2,716円	 その他の財源 1,529万円
	 町からの支出 9,143万円	

県から 1,529万円

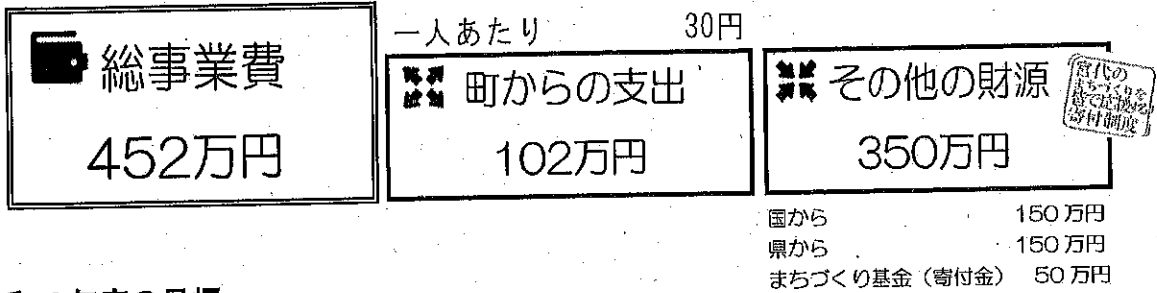
令和4年度の目標


子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、子どもの医療費の一部を支給します。また、県と連携して県内指定医療機関での現物給付化（窓口払い廃止）を図ります。

- 中学生以下の児童に対する医療費の一部支給 1億299万円
 - ・入通院分：中学3年生（15歳に達する日以後の最初の3月末日）までが対象
 - ※入院分については、令和4年10月分から対象を18歳に達する日以後の最初の3月末日までに拡大予定
 - ・対象の児童が医療機関で受診した際、医療機関に支払った保険診療の一部負担金を、「こども医療費支給申請書」に基づき、後日、指定口座に振り込みます。
 - ・町内の指定医療機関（医科・歯科・調剤）を受診した場合、現物給付（窓口払い廃止）を実施します。 ※令和4年10月からは、県内全域に移行予定
- その他の経費 373万円

みんなで子育て！こども未来事業

こども笑顔担当
内線361



 令和4年度の目標

子育て講座をはじめ、子育てひろばの利用者が参加する企画参加型のイベント、保護者向けの子育て講座、保育ボランティアの養成など、様々な世代・対象者を支援する各事業を開催するとともに、子育て応援ウェブサイトを活用して情報を集約・発信し、子育ての輪を広げていきます。

□ 子育てひろば、子育て支援センターの運営、相談事業の実施 217万円

《子育てひろば》

親子で遊んだりイベントに参加したり、保護者同士で交流したりしながら楽しく過ごせる場であるとともに、子育てに関する情報提供が受けられる、総合支援窓口の役割も有しています。

- 【所在地】笠原1-4-1(宮代町役場庁舎内)
- 【休館日】年末年始(12月29日~1月3日)
- 【開館時間】9時~17時(食事スペースは12時~13時)
- 【施設】プレイルーム(遊戯室)、交流スペース、授乳・オムツ替えスペース、絵本コーナー、相談室など



※ 新型コロナウイルス感染症対策等により、開館日や利用方法等が変更になる場合があります。

《子育て支援センター》

町内に居住する子育て中の親子が気軽に利用できる場所です。親子のふれ合いの場、保護者同士の交流の場であるとともに、子育ての不安や悩みに関する相談の受付、情報発信も行っています。また、子育てに役立つ講座や季節毎のイベントも実施しています。町内に3か所あります。

施設名	所在地	利用時間	休館日
のびのびキッズルーム (姫宮保育園内)	東 668	平日 午前9時~12時	日曜、祝日、年末年始
		午後1時~4時	
		土曜 午前9時~12時	
子育てひろば(きしゃぼっぽ) (役場庁舎内)	笠原 1-4-1	午前9時~午後5時 (食事スペース設置は昼12時から午後1時)	年末年始
げんきっ子 (国納保育園内)	国納 102-1	午前9時~12時	土・日曜・祝日・年末年始
		午後1時~4時	

※ 新型コロナウイルス感染症対策により、開館日や利用方法等が変更になる場合があります。

6 保育

《子育て相談》

月曜日から金曜日まで、3か所のいずれかで、専門相談員による相談を受け付けています。

育児相談	月曜日	午前9時～12時	子育てひろば（きしゃぼっぽ）
	火曜日	午前9時～12時	げんきっ子
	金曜日	午前9時～12時	（国納保育園内）
乳幼児健全育成相談	水曜日	午前9時～12時	子育てひろば（きしゃぼっぽ）
子ども家庭相談	木曜日	午後1時～4時	子育てひろば（きしゃぼっぽ）
子育て相談	月曜日	午前9時～12時	のびのびキッズルーム （姫宮保育園内）

□ 子育て応援ウェブサイトの運営

98万円




子育て応援ウェブサイト「みやしろで育てよう」において、妊娠、出産、子育て、教育に関する行政サービスの情報をはじめ、各種の子育て教室、楽しいイベント情報、口コミ情報などをお知らせしています。また、子育て相談員のコラムや特集記事、子育て関連施設の場所をまとめた子育てマップなども掲載しています。あわせて、facebook やLINE@でも子育てに関する情報を随時発信しています。

第5次総合計画

身近な場所で子育てサロン事業	P31
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業	P32

私立幼稚園運営支援事業

保育担当
内線324・329

 総事業費 229万円	一人あたり	68円
	 町からの支出 229万円	 その他の財源 0円

令和4年度の目標

町内私立幼稚園に対して振興助成金を交付することで、各幼稚園の環境改善や、幼児教育プログラムの向上及び心身障がい児教育の充実を図ります。




□ 私立幼稚園振興助成金

228万円

- ・補助額：1園につき 150,000円
障がい児1人につき2万円に在園月数を乗じて得た額

ファミリーサポートセンター運営事業・緊急サポート運営事業

(仮)こども安心担当
内線361

 総事業費 548万円	一人あたり	46円
	 町からの支出 154万円	 その他の財源

富代のまちづくりを
後援している
寄付制度

国から 172万円
県から 172万円
まちづくり基金(寄付) 50万円

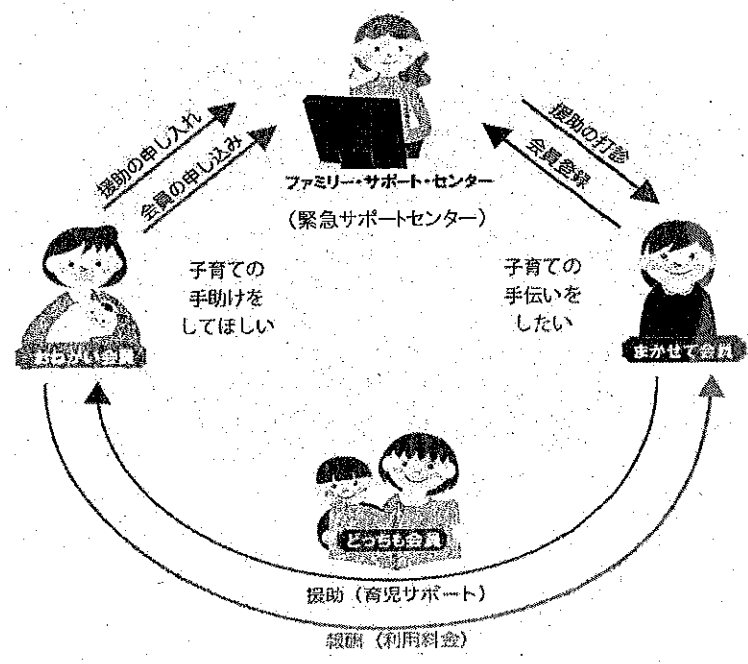
令和4年度の目標

地域で安心して子育てができるよう、子育ての援助を受けたい方(利用会員)と子育ての援助を行いたい方(提供会員)の会員間相互扶助による、育児の援助活動を行います。

【主な援助内容】

- ファミリーサポートセンター運営事業 495万円
 - ・ 保育園や幼稚園、学童保育所への送り迎え
 - ・ 保育園等の始業時間前または終業時間後の預かり
 - ・ 臨時的な預かり




- 緊急サポート事業 53万円
 - ・ 病気または病気の回復期、早朝、夜間、宿泊を要する場合等、緊急を伴う児童の預かり



6 保育

子育てのための施設等利用給付事業

保育担当
内線324・329

 総事業費 1億7,893万円	一人あたり 1,329円	 町からの支出 4,474万円	 その他の財源 1億3,419万円
	国から 8,946万円 県から 4,473万円		

 令和4年度の目標

幼児期の教育及び保育の重要性を鑑み、総合的な少子化対策を推進するため、私立幼稚園等の保育料を無償化します。




□ 無償化対象上限額


- ・幼稚園の保育料 25,700円/月
- ・幼稚園の預かり保育料 ※ 11,300円/月
- ・認可外保育施設等の利用料 ※ 42,000円/月 (0~2歳の非課税世帯)
37,000円/月 (3~5歳)

※ 保育の必要性がある方が対象

子ども家庭総合支援事業

(仮)こども安心担当
内線361

 総事業費 793万円	一人あたり 88円	 町からの支出 297万円	 その他の財源 496万円
	国から 496万円		

 令和4年度の目標

新たに子ども家庭総合支援拠点を設置し、地域における子どもとその家庭の実情を把握するとともに、関係機関と連携しながらリスクが考えられる家庭の早期発見・早期対応に努めます。また、問題等を抱えた子どもとその家庭へは随時、訪問、見守りを行い、児童虐待に繋がらないよう、きめ細やかな対応や有効な支援を継続的に実施します。

□ 子ども家庭総合支援拠点の開設や運営に必要な経費 197万円




- ・子ども家庭支援
- ・要保護児童等へ支援業務の強化
- ・虐待予防的支援
- ・関係機関との連絡調整

□ 子どもの見守り強化事業 596万円

- ・支援を必要とする子どもやその家庭へ、弁当や食材等を定期的に配布
 弁当配布 279万円 生活支援 317万円

児童手当支給事業

子育て推進担当
内線323

 総事業費 4億2,940万円	一人あたり	1,949円
	 町からの支出 6,561万円	 その他の財源 3億6,379万円
	国から	2億9,877万円
	県から	6,502万円

令和4年度の目標




次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという趣旨のもとに、中学校修了までの子どもを養育している保護者へ児童手当を支給します。

- 支給額 4億2,888万円
- ・ 3歳未満 15,000円
 - ・ 3歳以上小学校修了まで 10,000円（第3子以降月額15,000円）
 - ・ 中学生 10,000円
- ※ すべて子ども1人に対しての月額です。
- ・ 所得制限限度額以上所得上限限度額未満の方は児童1人につき 5,000円
 - ・ 令和4年10月分から、所得上限限度額以上の方へは支給されません。
 - ・ 支給時期 6月(2~5月分)、10月(6~9月分)、2月(10~1月分)


6 保育

町立保育園（みやしろ保育園・国納保育園）運営事業

みやしろ保育園 32-3011
国納保育園 34-5839

 総事業費 5,253万円	一人あたり	909円
	 町からの支出 3,059万円	 その他の財源 2,194万円

国から	89万円
県から	89万円
保育料等	1,816万円
まちづくり基金（寄付金）	200万円

 令和4年度の目標

保護者の就労等により家庭での保育が困難な時間帯において、家庭との連携を図りながら子どもが安全かつ健康的に生活できる環境のもとで保育を実施し、心身の健全な発達を支援します。また、子ども1人ひとりの特性や発達状況を踏まえた保育に努めるとともに、子どもの自主性を尊重し、自分で考え行動できる力を育てていきます。

- みやしろ保育園・国納保育所運営費 5,213万円
引き続き新型コロナウイルス感染症等への対策を十分に行い、安心安全な環境において保育の実施に努めます。
- みやしろ保育園第三者評価 40万円
みやしろ保育園では更なる保育の質の向上を図るため、第三者評価機関による専門的かつ客観的な評価受審を実施します。
※国納保育園は令和5年度に実施予定

身近な場所で子育てサロン事業

[みんなで子育て！こども未来事業]

子育て支援課

こども笑顔担当 内線 361

総事業費
123万円

一人あたり 37円

町からの支出
123万円

その他の財源
0万円

令和4年度の目標

子育て中の方が孤立しないように、身近な飲食店や集会所等で地域子育てサロンを実施していきます。実施主体を地域主体へと移行する準備を行うため、店舗の認証制度や企画委員が自立して活動できるように支援の仕組みづくりを検討していきます。また、子育てネットワーク(子育て応援隊)を拡充し、担い手となる人材や運営場所を発掘していきます。

前期実行計画の趣旨とその工程

子育て中の方が孤立しないように、身近な飲食店や集会所等で地域の皆さんが実施する地域子育てサロンの開設・運営をサポートします。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
地域子育てサロンのモデル事業の実施	子育て支援課	▶				
サロンの開設や運営のための支援策の検討	子育て支援課	▶				
地域主体の子育てサロンの運営開始	地域主体の子育てサロン			▶		
子育て情報サイトのリニューアル	子育て支援課			▶		

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地域主体の子育てサロンの運営 3か所以上

地域みんなでこどもたちの居場所づくり事業①

[みんなで子育て！こども未来事業]

子育て支援課

こども笑顔担当 内線 361

総事業費
14万円

一人あたり 4円
町からの支出
14万円

その他の財源
0万円

令和4年度の目標

子どもが安心して過ごせ、地域の方々と交流しながら様々な体験や必要な支援を受けることができる居場所づくりが町内の各所で展開されるようになることを目指して、そうした活動が生まれるきっかけとなるイベントを実施するとともに、活動を持続発展させるために必要な支援策を検討します。

前期実行計画の趣旨とその工程

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の間を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
子どもの居場所づくりについて調査研究	子育て支援課 教育推進課	▶				
子どもの居場所づくりイベントの開催	子育て支援課	▶				
子どもの居場所づくり活動の支援策の検討	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等	▶				
子どもの居場所づくり活動を広げるフォーラム、体験事業の実施	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等		▶			
居場所づくり活動のネットワークの構築	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等			▶		

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

- 子どもの居場所づくり活動 3か所以上
- 子どもの居場所づくり活動のネットワークの構築